

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 8 月 11 日 (2005.8.11)

【公開番号】特開 2003-24198 (P2003-24198A)

【公開日】平成 15 年 1 月 28 日 (2003.1.28)

【出願番号】特願 2002-227967 (P2002-227967)

【国際特許分類第 7 版】

A 4 7 G 1/02

A 4 7 G 1/04

【F I】

A 4 7 G 1/02 M

A 4 7 G 1/04 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 1 月 18 日 (2005.1.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来、この種の二面鏡としては、実開昭 5 7 - 7 4 7 8 2 に、台 5 に鏡 1 鏡 2 をアーム 3 と、自在つぎ手 4 でつなぐヘアミラーが記載されている。また特開 2 0 0 0 - 1 9 7 5 4 7 には、伸宿自在具で二面の鏡を連結した構成でなる手持型の二面鏡がある。さらに、特開 2 0 0 1 - 1 0 4 1 2 2 には吸盤等の固定手段を介し壁面に支持された第 1 アームと第 2 アームをもつ鏡が壁面に着脱自在に取り付けられものがあつた。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】 また、上記どちらの鏡においても鏡がアームにより、固定されている為、鏡を持って位置を移動するときに保持力が、大きいという問題やアームの端に付けられた鏡を顔の近くまで寄せ、メイクアップや髭剃りを行うことはアームは邪魔になるとともに鏡を持っているという不自由さもあつた。